

プラム・プルーン特報 No. 8

平成 29 年 7 月 14 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市プラム部会

7月上旬の気象条件から、急激な降雨や気温の上昇などにより、果実の裂果や日焼け、果肉先行の症状やシンクイムシ類の多発、また、黒斑病（かいよう病）の感染など、生産量に影響を及ぼす状況ですが、薬剤散布の徹底を図り正品率の向上に努めてください。

シンクイムシ類が増加しています。散布間隔に注意し、死角ができないよう薬液が十分にかかるようにして下さい。

1. 薬剤散布 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい 《プラム》 前回から約 10 日後

・散布時期： 7月下旬（7/21～7/25 頃）	・散布日 7月 日
	・散布量 0
・散布薬剤： 水 100ℓ当り	
展着剤（まくぴか） 20ml	
オンリーワンフロアブル 50ml（前日、3回）	
サムコルフロアブル 10 40ml（3日前、3回）	
・対象病虫害：アブラムシ類、（シンクイムシ類）、灰星病	
・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴 600ℓ（散布むらのないよう、十分に散布する）	
・注意事項	
① 収穫直前の品種（紅りょうぜん、菅野中生）は、サムコルフロアブル 10 に代えてイカズチ WDG1500 倍（前日、2回）を使用する。	
② 灰星病対策：ナリア WDG2000 倍（前日、2回）を特別散布する。	
③ 黒斑病（かいよう病）対策：秋姫等で発生がある場合は、バリタシン液剤 5 の 500 倍（14 日前、4回）又はスターナ水和剤 1000 倍（7日前、3回）を加用する。	

スモモヒメシンクイムシ発生状況

（前週調査数）

（各地区フェロモントラップ調査日：7/12）	*上今井地区 -7 頭↑（1）	*倭地区-40 頭↑（4）
（各地区フェロモントラップ調査日：7/10）	*深沢-0 頭 ⇔（0）	*一本木-39 頭↑（31）
	*西条-11 頭↑（8）	*草間-33 頭↓（60）

《プルーン》 前回から約 10 日後

・散布時期： 7月下旬（7/23～7/27 頃）	・散布日 7月 日
	・散布量 0
・散布薬剤： 水 100ℓ当り	
オンリーワンフロアブル 50ml（前日、3回）	
イカズチ WDG 66g（前日、2回）	
・対象病虫害：灰星病、シンクイムシ類（ケムシ類）	
・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴 600ℓ（散布むらのないよう注意する。）	
・注意事項	
① 今回以降、果粉溶脱（ブルーム）防止及び果実汚染防止のため天着剤は使用しない。	

・今後の管理（生育は平年並み）

- シンクイムシ被害果は園地外へ除去するか、水没させて被害が増加しないようにしましょう！
- 枝吊り、支柱たて、新梢管理などを行い、明るく農薬の薬液が十分にかかる園地にしましょう。
- 収穫始予想：園地の状況により目安としてください。

・ソルダム 7 月 27 日頃～

・サマーエンジェル 7 月 29 日頃～

・貴陽 8 月 6 日頃～